

灌水設備概要及び仕様

別紙4

灌水設備資材 設置場所別 資材仕様と導入個数

資材設置場所	圃場箇所 詳細図 番号	灌水設備	設計概要	設計仕様	灌水設備 個数	スプリンク ラーノズル 部個数
仮植畝（マツ）	別紙2 ①	スプリンクラー	立ち上がり式スプリンクラー灌水 立ち上がり高さ30～50cm スプリンクラー間のホースが分解できること スプリンクラー間隔2.5～3m 想定送水管長 27m (灌水資材設置は不要)	立ち上がり式 送水方式：耐水ホース（防藻 タイプ） スタート部止水バルブ 水量 2L/分 散水範囲3～3.5m (0.2MPa時)	11セット	11
大ビニールハウス	別紙2 ②	現行のものを使用	灌水制御による送水配管改修あり	現行灌水設備に接続	—	—
広葉樹コンテナ苗	別紙2 ③	スプリンクラー	立ち上がり式スプリンクラー灌水 立ち上がり高さ120～150cm スプリンクラー間隔2～2.3m 想定送水管長8m (灌水資材設置は不要)	立ち上がり式 送水方式：耐水ホース（防藻 タイプ） スタート部止水バルブ 水量4～4.5L/分 散水範囲3～3.5m (0.2MPa時)	4セット	4
イノベハウス1	別紙2 ④-1	現行のものを使用	灌水制御による送水配管改修あり 現行灌水設備スプリンクラーノズル取替あり	スプリンクラーノズル取替 吊り下げ式 水垂れ防止機能 付き 水量3～3.5L/分 散水範囲5～9m(2m高さ時)	—	9
イノベハウス2	別紙2 ④-2	現行のものを使用	灌水制御による送水配管改修あり 現行灌水設備スプリンクラーノズル取替あり	スプリンクラーノズル取替 吊り下げ式 水垂れ防止機能 付き 水量3～3.5L/分 散水範囲5～9m(2m高さ時)	—	9
仮植畝（スギ）	別紙2 ⑤	スプリンクラー	立ち上がり式スプリンクラー灌水 立ち上がり高さ30～50cm スプリンクラー間のホースが分解できること スプリンクラー間隔2.5～3m 想定送水管長 18～19m (灌水資材設置は不要)	立ち上がり式 送水方式：耐水ホース（防藻 タイプ） スタート部止水バルブ 水量3～3.5L/分 散水範囲3～3.5m (0.2MPa時)	8セット	8
播種床	別紙2 ⑥	現行のものを使用	灌水制御による送水配管改修あり 現行灌水設備スプリンクラーノズル取替あり	立ち上がり式 水量3～3.5L/分 散水範囲3～3.5m (0.2MPa時)	—	4
挿し木床 2, 3	別紙2 ⑦	現行のものを使用	灌水制御による送水配管改修あり 現行灌水設備スプリンクラーノズル取替あり	立ち上がり式 水量3～3.5L/分 散水範囲3～3.5m (0.2MPa時)	—	10 (5個*2列)

灌水制御及び配管、その他付随設備

制御設備	設置箇所	設計仕様	個数	備考
灌水コントローラー	別紙 3 灌水設備配置図 図面の大ビニールハウス内 (①②③)	灌水ブロック①～③の電磁弁制御 1面当りの出力系統数：4系統 制御出力DC24V又はAC24V 自動設 定9パターン以上、手動設定3パターン以上 時間 制御(1分単位設定、最大灌水時間設 定60分以上) 保護 BOX内収納	3面	① 使用系統2、予備2 ② 使用系統3、予備1 ③ 使用系統3、予備1
自動散水用電磁弁	別紙 3 灌水設備配置図 ①～③の 8 箇所	樹脂製電磁弁 口径25mm 電圧 DC24V又はAC100V 保護BOX内収納	① 2個 ② 3個 ③ 3個 計8個	
散水栓	別紙 3 灌水設備配置図 ①～③の 8 箇所	20mm ホースカップリング付 保護BOX内収納	① 2個 ② 3個 ③ 3個 計8個	
濾過フィルター	別紙 3 灌水設備配置図 新設予定ポンプ付近	樹脂製 ディスクフィルタータイプ メッシュサイズ #80程度 水抜きドレン付架台共(耐腐食性に優れるもの)	1台	
送水配管	別紙 3 灌水設備配置図 計画配管経路	主配管 HIVP50mm 枝配管 H I V P 25mm 配管継手、その他雑資材共 地下埋設	HIVP50mm 218m HIVP25mm 47m (割増し含む)	地中埋設 GL-500以上
電気配線	別紙 3 灌水設備配置図 各コントローラー 及び電磁弁、電源箇所からの 引き込み (AC100V) コントローラー設置 ハウス	コントローラー及び電磁弁の制御配線、電源線 引込地下埋設 保護管内に納め埋設	コントローラー3台、 電磁弁8個の制御配線及びコ ントローラーへの電源供給	地中埋設 GL-500以上